



2023年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年9月16日

上場会社名 コーセル株式会社
 コード番号 6905 URL <https://www.cosel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斉藤 盛雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 高島 大介
 四半期報告書提出予定日 2022年10月4日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 076-432-8149

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第1四半期の連結業績(2022年5月21日～2022年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	7,620	7.0	784	0.4	905	27.9	627	32.1
2022年5月期第1四半期	7,120	4.8	787	12.0	708	35.7	474	36.1

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 763百万円 (17.6%) 2022年5月期第1四半期 649百万円 (27.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	18.40	
2022年5月期第1四半期	13.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第1四半期	45,932	41,260	89.6	1,208.04
2022年5月期	45,722	40,939	89.4	1,198.96

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 41,178百万円 2022年5月期 40,868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		13.00		13.00	26.00
2023年5月期					
2023年5月期(予想)		13.00		14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年5月21日～2023年5月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,590	12.9	1,400	9.0	1,440	6.0	970	2.3	28.40
通期	32,220	14.8	3,250	15.6	3,300	10.6	2,315	22.1	67.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年5月期1Q	35,712,000 株	2022年5月期	35,712,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年5月期1Q	1,625,466 株	2022年5月期	1,625,429 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年5月期1Q	34,086,549 株	2022年5月期1Q	34,338,181 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、ゼロコロナ政策を推進する中国では都市封鎖が行われ、中国及び世界経済に影響を及ぼしております。また、ロシアのウクライナ侵攻の影響による資源・エネルギー価格の高騰に加え、米国の政策金利の引き上げの影響による大幅な為替変動など、世界経済の先行きは不透明な状況にあります。

エレクトロニクス業界におきましては、社会のデジタル化の進展に伴い半導体需要は堅調である一方で、依然として半導体等部品の入手難が継続しております。

このような情勢の中で当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響によるお客様への訪問営業の制限が徐々に緩和されつつある中、前期から引き続き、電話・メール・ウェブを中心とした拡販活動に注力してまいりました。

生産面においては、前期から継続して新型コロナウイルスの感染予防に努めるとともに、需要急増への対応として、部品材料の安定調達に注力してまいりましたが、一部の部品材料において入手難が継続しており、当社グループの生産活動に影響が生じております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は112億38百万円（前年同期比14.6%減）、売上高は76億20百万円（同7.0%増）となりました。利益面におきましては、部品材料の値上げによる材料費比率の上昇、人件費や経費の増加があったものの、売上高の増加及び為替による影響等により、経常利益は9億5百万円（同27.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億27百万円（同32.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本生産販売事業

日本国内では、半導体製造装置関連を中心に調整局面にあるものの、当社製品のリードタイム長期化に伴い、依然として先々を見込んだ手配需要が継続しております。顧客の生産活動は堅調であり、当社においても生産能力の増強を図ってまいりましたが、部品材料の入手難の影響により、生産活動の一部が制限されました。

営業活動につきましては、当社が重視する訪問面談が新型コロナウイルス感染症拡大による制限から徐々に緩和されつつある中、販売店との情報共有強化を図り、お客様とのウェブ面談やメールを中心とした活動に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、46億87百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は7億32百万円（同6.2%減）となりました。

②北米販売事業

米国では、部品材料の入手難に対する懸念から、依然として先行手配に伴う需要が一部で見られたものの、需要は徐々に落ち着きを取り戻しつつあります。当社グループにおいても部品材料の入手難等の影響が継続したものの、北米販売事業の売上については好調に推移しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による制限が緩和される中、ウェブやメールを中心にファクトリーレップとの連携を図りつつ、拡販活動に注力してまいりました。新製品につきましては、動画を用いてプロモーション強化に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、6億69百万円（前年同期比28.9%増）、セグメント利益は35百万円（同24.9%減）となりました。

③ヨーロッパ生産販売事業

ヨーロッパでは、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響から回復し、需要は堅調に推移しました。当社グループにおいても部品材料の入手難等の影響が継続したものの、ヨーロッパ生産販売事業の売上については好調に推移しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による行動制限が徐々に緩和されつつありますが、前期から引き続き、テレワーク中心の拡販活動に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、14億76百万円（前年同期比12.5%増）、セグメント損失は38百万円（前年同期はセグメント損失1億15百万円）となりました。

④アジア販売事業

アジアでは、前期までの先行手配需要の反動により、当第1四半期は調整局面となり、需要が大幅に減少しました。当社グループにおいても部品材料の入手難等の影響が継続しており、一部のアジア市場向け製品への影響があったものの、アジア販売事業の売上については好調に推移しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、電話・メール・ウェブを使った拡販活動が中心になっており、前期から引き続き、新規開拓のためのウェブマーケティングに注力しております。

この結果、外部顧客への売上高は、7億86百万円（前年同期比18.6%増）、セグメント利益は43百万円（同37.9%増）となりました。

⑤中国生産事業

中国生産事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う都市封鎖や、部品材料の入手難が生産活動の一部に影響を及ぼした一方で、新製品の生産については、海外市場向けに「WDAシリーズ」の量産準備を推進してまいりました。

この結果、セグメント間の内部売上高は、6億35百万円（前年同期比41.6%増）、セグメント利益は60百万円（同171.0%増）となりました。

(参考) 製品別の業績

1) 受注高及び受注残高

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年8月20日)		当第1四半期連結会計期間末 (2022年8月20日)	
	受注高 (百万円)	対前年同期増減率	受注残高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品				
ユニット電源	5,902	△22.3%	22,894	213.8%
オンボード電源	3,212	△16.8%	12,907	196.7%
ノイズフィルタ	591	7.5%	1,453	208.3%
P R B X製品 (※)	1,530	32.0%	5,303	56.1%
合計	11,238	△14.6%	42,559	174.3%

2) 売上高

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年8月20日)	
	売上高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品		
ユニット電源	4,148	4.9%
オンボード電源	1,908	3.1%
ノイズフィルタ	382	14.6%
P R B X製品 (※)	1,180	20.4%
合計	7,620	7.0%

(※) P R B X製品 : Powerbox International ABが開発、製造、販売する製品群

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は337億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億83百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が2億94百万円、棚卸資産が9億32百万円増加した一方で、現金及び預金が3億92百万円、有価証券が4億円減少したことによるものであります。

固定資産は122億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億73百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が99百万円、繰延税金資産が96百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は459億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億10百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は36億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億76百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が1億38百万円、その他が1億29百万円増加した一方で、未払金が1億21百万円、未払法人税等が79百万円、賞与引当金が2億49百万円減少したことによるものであります。

固定負債は9億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は46億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億10百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は412億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億20百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益6億27百万円、剰余金の配当4億43百万円等により、株主資本が1億84百万円増加したことに加え、為替換算調整勘定が1億55百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は89.6%（前連結会計年度末は89.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年6月15日の「2022年5月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,580,933	13,188,566
受取手形及び売掛金	9,172,308	9,467,092
有価証券	1,800,000	1,400,000
商品及び製品	1,576,356	1,561,385
仕掛品	595,498	767,113
原材料及び貯蔵品	6,181,421	6,957,749
その他	430,096	379,969
貸倒引当金	△5,648	△7,091
流動資産合計	33,330,966	33,714,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,106,066	7,129,995
減価償却累計額	△3,410,830	△3,462,649
建物及び構築物 (純額)	3,695,235	3,667,345
機械装置及び運搬具	7,752,963	7,753,996
減価償却累計額	△6,330,731	△6,394,136
機械装置及び運搬具 (純額)	1,422,231	1,359,859
工具、器具及び備品	6,120,559	6,152,034
減価償却累計額	△5,581,531	△5,622,492
工具、器具及び備品 (純額)	539,027	529,542
土地	1,184,262	1,184,262
リース資産	508,842	512,391
減価償却累計額	△149,556	△174,774
リース資産 (純額)	359,286	337,616
建設仮勘定	17,039	38,797
有形固定資産合計	7,217,082	7,117,423
無形固定資産		
ソフトウェア	24,405	21,000
技術資産	468,421	453,214
顧客関連資産	827,374	815,798
のれん	95,903	91,165
その他	17,605	15,990
無形固定資産合計	1,433,711	1,397,169
投資その他の資産		
投資有価証券	3,265,317	3,220,729
退職給付に係る資産	165,705	167,104
繰延税金資産	149,685	52,970
その他	159,980	262,413
投資その他の資産合計	3,740,689	3,703,218
固定資産合計	12,391,483	12,217,811
資産合計	45,722,449	45,932,597

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,737,549	1,876,093
短期借入金	64,951	82,175
未払金	408,324	287,146
リース債務	86,723	82,811
未払法人税等	283,710	204,007
賞与引当金	418,678	169,320
製品保証引当金	163,000	155,000
その他	694,741	824,257
流動負債合計	3,857,680	3,680,812
固定負債		
繰延税金負債	273,821	271,988
退職給付に係る負債	230,994	228,107
リース債務	281,098	265,251
その他	139,091	225,932
固定負債合計	925,005	991,280
負債合計	4,782,686	4,672,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,279,881	2,279,881
利益剰余金	37,078,093	37,262,243
自己株式	△1,847,497	△1,847,528
株主資本合計	39,565,477	39,749,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	344,300	313,127
為替換算調整勘定	963,687	1,119,139
退職給付に係る調整累計額	△5,092	△3,819
その他の包括利益累計額合計	1,302,895	1,428,447
非支配株主持分	71,390	82,459
純資産合計	40,939,762	41,260,504
負債純資産合計	45,722,449	45,932,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年5月21日 至 2021年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年8月20日)
売上高	7,120,955	7,620,231
売上原価	5,068,499	5,523,684
売上総利益	2,052,456	2,096,547
販売費及び一般管理費	1,265,038	1,311,985
営業利益	787,417	784,561
営業外収益		
受取利息	3,587	6,896
受取配当金	25,990	24,880
為替差益	-	85,511
受取補償金	-	573
その他	13,832	5,470
営業外収益合計	43,410	123,332
営業外費用		
支払利息	788	2,341
為替差損	121,496	-
自己株式取得費用	250	-
営業外費用合計	122,535	2,341
経常利益	708,293	905,552
特別利益		
固定資産売却益	-	49
特別利益合計	-	49
特別損失		
固定資産売却損	-	1,086
固定資産除却損	9	335
特別損失合計	9	1,421
税金等調整前四半期純利益	708,283	904,180
法人税、住民税及び事業税	99,670	162,406
法人税等調整額	131,640	104,931
法人税等合計	231,310	267,337
四半期純利益	476,972	636,843
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,073	9,567
親会社株主に帰属する四半期純利益	474,899	627,275

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年5月21日 至 2021年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年8月20日)
四半期純利益	476,972	636,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,661	△31,173
為替換算調整勘定	88,936	156,954
退職給付に係る調整額	△1,107	1,273
その他の包括利益合計	172,491	127,054
四半期包括利益	649,464	763,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	647,178	752,828
非支配株主に係る四半期包括利益	2,285	11,069

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年5月21日 至 2021年8月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 生産販売 事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	4,625,927	519,592	1,311,982	663,452	—	7,120,955	—	7,120,955
セグメント間の 内部売上高	984,963	—	—	—	449,104	1,434,068	△1,434,068	—
計	5,610,891	519,592	1,311,982	663,452	449,104	8,555,023	△1,434,068	7,120,955
セグメント利益 又は損失 (△)	781,472	47,439	△115,675	31,323	22,462	767,022	20,395	787,417

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額20,395千円は、セグメント間の取引消去23,556千円及び棚卸資産の未実現損益の消去△3,161千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失 (△) の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年5月21日 至 2022年8月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 生産販売 事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	4,687,280	669,692	1,476,399	786,859	—	7,620,231	—	7,620,231
セグメント間の 内部売上高	1,139,497	—	7,405	—	635,871	1,782,775	△1,782,775	—
計	5,826,777	669,692	1,483,804	786,859	635,871	9,403,007	△1,782,775	7,620,231
セグメント利益 又は損失 (△)	732,751	35,638	△38,349	43,198	60,878	834,118	△49,556	784,561

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△49,556千円は、セグメント間の取引消去39,616千円、固定資産及び棚卸資産の未実現損益の消去△89,173千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失 (△) の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。